

各関係機関の長 殿

山形大学大学院医学系研究科長  
上野 義之  
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

謹啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび本研究科看護学専攻では、下記のとおり教員を公募することになりました。つきましては、御多用のところ誠に恐縮に存じますが、貴職関係者に御周知いただくとともに、適任者がおられましたら御推薦賜りますようお願い申し上げます。

謹言

記

1 所 属 看護学専攻 臨床看護学分野

2 職種及び人員 助教 1人

3 担当科目 母性看護学 助産学

看護学科：「母性看護学概論」，「母性看護方法」，「母性看護学実習」，「統合実習」

「基礎助産学」，「助産診断学Ⅰ・Ⅱ」，「助産技術学Ⅰ・Ⅱ」，「助産学実習」

大学院：「母子看護学演習Ⅰ」

4 採用予定年月日 令和4年4月1日

5 応募資格

- (1) 看護師及び助産師の免許を有すること
- (2) 修士以上の学位を有する者が望ましい
- (3) 原則として3年以上の実務経験を有すること
- (4) 女性であること

※本選考は「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則って男女共同参画を推進するため、女性教員を採用します。

山形大学では全学をあげた男女共同参画の推進と、ワークライフバランスの実現に取り組んでいます。本学には、小白川キャンパス保育所、医学部保育所・病児保育室など、各キャンパスに保育支援制度があり、子育て支援が充実しています。また、ダイバーシティ研究環境実現のために、研究継続支援員制度、学会参加時の保育支援制度はじめ、女性研究者の活躍を支援する制度を整えています。詳細については、下記URLをご覧ください。

山形大学男女共同参画推進室 <http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>

6 待遇等

任期は5年間とします。採用時からテニュアトラック期間（5年）満了時まで学内規程に基づくテニュア審査が行われ、可とされた場合にはテニュアが付与されます。※本学のテニュアトラック制度については、下記をご参照ください。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/recruitment/20201105/>

(1) 給与

国立大学法人山形大学年俸制（Ⅱ）適用職員給与規程による年俸制。  
経験等を考慮し、基本年俸を決定します。

(2) 保険

文部科学省共催組合（健康保険・厚生年金）、雇用保険、労災保険

- 7 提出書類 (1) 推薦書（様式適宜） 1 部  
(2) 履歴書（別紙様式1） 1 部  
(3) 業績一覧（別紙様式2） 1 部  
(4) 主要論文別刷 1～2編以内  
（卒業論文、修士論文を含む。コピー可）  
(5) 教育・研究についての抱負 1 部  
（様式自由，A4判縦，1,000字程度）
- 8 面接日 面接の日時は、追ってお知らせします。
- 9 書類提出先 〒990-9585  
山形市飯田西二丁目2-2  
山形大学大学院医学系研究科長宛  
(封書には「臨床看護学担当教員公募書類在中」と朱書のこと。)
- 10 公募締切日 令和3年12月28日（月）17時必着
- 11 問い合わせ先 山形大学飯田キャンパス事務部総務課人事・労務担当(人事)  
TEL 023-628-5005  
FAX 023-628-5019  
メールアドレス yu-isojin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

(様式1)

## 履 歴 書

(令和〇〇年〇〇月〇〇日現在)

ふりがな 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇  
 氏 名： 〇 〇 〇 〇 〇 昭和 32 年 (1957) 〇 月 〇〇 日生 (〇〇歳) 男  
 (旧姓名：〇 〇 〇 〇)

所属・職種： 〇〇大学〇〇学部〇〇学第二講座・准教授  
 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇  
 電 話：〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 (直通) FAX：〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇  
 メール：0000@00000-u.ac.jp

現 住 所： 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇-〇〇〇号室 本籍：〇〇〇県  
 電話：〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

学 歴： 昭和57年(1982) 〇月 〇〇大学医学部医学科卒業  
 昭和〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇〇大学大学院医学研究科医学専攻入学  
 昭和〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 同 上 修了

免 許 等： 昭和57年(1982) 〇月〇〇日 医師免許(第〇〇〇〇〇〇号)  
 昭和〇〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 厚生省〇〇〇〇〇〇資格認定医(第〇〇〇〇〇号)  
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 日本〇〇学会認定〇〇医(第〇〇〇〇〇号)  
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 日本〇〇〇〇学会認定指導医(第〇〇〇〇〇号)  
 学 位： 昭和〇〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 医学博士(〇〇大学)，または博士(医学)(〇〇大学)

職 歴： 昭和〇〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 国立〇〇病院医員(研修医)(外科)  
 昭和〇〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 同上 辞職  
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部助手(〇〇学第二講座)  
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 同上 辞職  
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇県立〇〇病院(〇〇部)  
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 同上 辞職  
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇〇月 〇日 米国〇〇〇〇〇〇大学研究員(〇〇学)  
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 帰国  
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部附属病院助教(〇〇部)  
 平成 〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部講師(〇〇学第二講座)  
 平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部准教授(〇〇学第二講座)  
 現在に至る

所属学会等： 日本〇〇学会(評議員：平成〇年～現在)  
 日本〇〇〇学会  
 日本〇〇〇〇学会(評議員：平成〇年～現在)

賞 罰： なし

